自然保護課だより
かわせみ通信
第２９号（令和４年９月発行）
発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課
住所：神奈川県厚木七沢６５７
TEL：046-248-6682

野外施設自然情報

バックナンバーは
HPから見られます→

自然環境保全センターの野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にふれることができます。
この「かわせみ通信」では、野外施設の出来事や生き物たちの様子を紹介しています。

野外施設トピックス（6～8月）

日　付	場　所	できごと
6月 5日	自然観察園	ザリガニバスターズ開始 （実施期間は10月2日まで）
7月 1日	N6	ニホンマムシに遭遇 職員が興奮して写真を撮りまくるくらい確認されたのは久しぶり！ しかし咬まれると危険なため、不用意に近づかないようにしましょう。
7月31日	K14	カエンタケ確認 ナラ枯れにより伐採したコナラの切り株脇で確認。 触れると危険なため注意喚起の表示を設置しました。
		ミニ観察会でノコギリクワガタに出会う 昼間はあまり見られないのですが、 運よく2匹も出会えて参加者も喜んでいました。
8月 13･18日	自然観察園	大雨警報発令により閉園

ニホンマムシ

谷戸の土から出てきたものは・・・？

かつて、自然観察園の池や湿地にはさまざまな水生植物が生育していましたが、アメリカザリガニなどの影響により、今では水中に生える植物はほとんど見られません。遷移が進み土が堆積して陸になった場所もあります。そんな谷戸の池や湿地の土の中に、消えてしまった植物の種子が残っているかもしれないと期待を込めて実験をしてみました。

土をコンテナに入れて水を張り、ザリガニに食べられたり、シカやイノシシに踏み荒らされたりしない状況をつくったところ、園内の水辺に今もたくさん生えるボントクタデ、湿地に生えるイボクサ、抽水植物のミクリ、そして藻類のシャジクモが出てきました。シャジクモは田んぼなどで普通に見られる藻類ですが、現在の自然観察園の池の中には見られません。土の中に埋まって休眠状態であった種子や胞子が出てきたものだと考えられます。

今回の実験で自然観察園の土の中には植物の種子がまだ残されていることがわかりました。今後も埋土種子を育てる試みを続けていき、復活した植物を紹介していきたいと思います。

土を入れたコンテナ

シャジクモ

自動撮影カメラが見た　シカの変化

シカの角 移り変わり

令和2年10月発行の21号で、非公開エリアに設置した自動撮影カメラの撮影回数から、ニホンジカが秋（10～11月）、春（3～4月）、初夏（6～7月）の順で頻繁に野外施設を利用していることや、6月に撮影されたシカの親子の様子を紹介しました。今年からカメラの場所を少し移動しましたが、相変わらずシカはよく映ります。今回は春から初夏にかけて見られたシカの変化をご紹介します。

＜オスの角の生え変わり＞

シカは、角が生えるのはオスだけです。角は年齢によって発達し、満1才になると1本角が生え、年をとるごとに枝分かれしていき、満4才を過ぎると立派な3又の角になります。1月～3月の間、カメラに映ったのはメスや1本角の若いオスだけでしたが、4月に入ると3又の角を持つオスが映るようになりました。

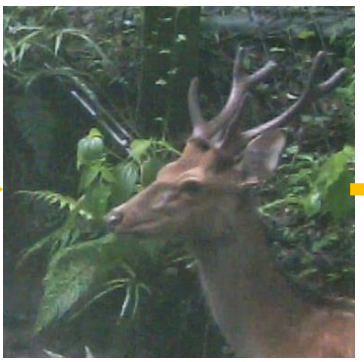
しかし、5月19日以降、角の生えたオスのシカは映らなくなりました。19日の前後には角が片方だけのシカや、生え始めの短い角のシカが映っていました。個体数はわかりませんが、ほぼ同時期にオスの角が落ちたのだとわかります。シカの角は毎年春から初夏にかけて落ちて、新しく生え変わります。6月、7月とぐんぐん伸びていく角の様子が捉えられ、8月になると3又にまで伸びていました。新しい角はまだ皮膚に覆われていて柔らかそうですが、秋になると皮膚がむけ、硬くて白い角が出来上がります。

立派な角が・・・

片方だけになり（5月撮影）

両方なくなって（5月撮影）

新しい角が出てきて（6月撮影）



枝分かれして（7月撮影）

3又に伸びました！（8月撮影）

シカの親子（7月9日撮影）

＜子ジカの登場＞

6月20日以降には、シカの親子が頻繁に映るようになりました。シカの出産時期は5～6月といわれ、生まれた直後の数日間は子どもは茂みに隠れてじっとしています。その後は母親と一緒に行動しお乳を飲みながら草も食べるようになります。撮影された写真や動画でも草を食んだり、元気いっぱいに飛び跳ねている様子がみられました。

シカ以外にも、6月にはアナグマ、8月にはイノシシの親子が撮影されました。記録を続けることで見えてくる野生動物たちの営みをこれからも注目していきたいと思います。

傷病鳥獣救護の情報

※救護の情報やバックナンバーは、ホームページで見られます。

神奈川県　野生動物救護　検索

自然環境保全センター（旧自然保護センター）では、傷病鳥獣の救護業務として、県民の方により持ち込まれた県内の傷ついたり弱ったりした野生動物（鳥類と哺乳類の一部）を収容し、必要に応じて治療やリハビリを行い、野生に戻す業務を昭和53年（1978年）から行っています。この「かわせみ通信」では、持ち込まれた野生動物の「救護原因」や「リハビリ状況」などの情報を掲載しています。

●　2022年4～6月の報告　●

救護実績

放野などの最新の情報は「Twitter」で紹介中！

【救護件数上位種】

種名	件数
スズメ	26
ツバメ	25
ムクドリ	10
キジバト	9
シジュウカラ	8
メジロ	8
ハクセキレイ	8

【主な救護原因】

鳥類の原因	件数
ネコなどに襲われる	32
ガラス窓などへの衝突	15
交通事故の疑い	8
粘着剤に絡む	7
誤認保護	5
機械に巻き込まれる	2
ショッピングカートに巻き込まれる	1

哺乳類の原因	件数
疥癬症(かいせんしょう)	2
交通事故	1
誤認保護	1

受け入れ報告

巣立ったばかりのヒナが、なぜ傷ついてしまったか？その原因に目を向けてみましょう。

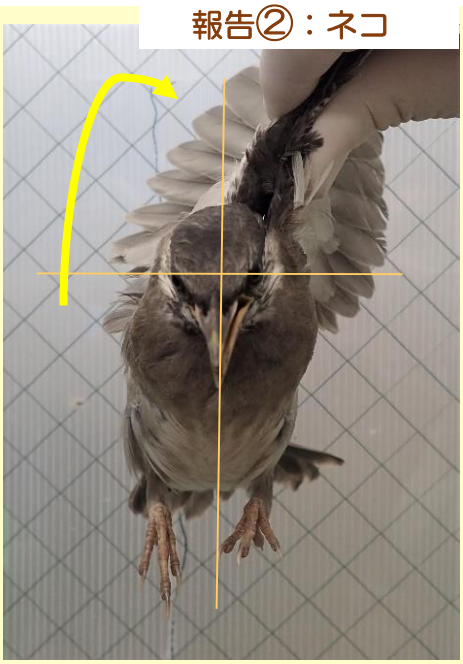
報告①：事故

受　付 No.　２２００８１
種　　名　スズメ（スズメ科）
受 入 日　2022年6月3日
救護場所　川崎市中原区
救護原因　ショッピングカートにはさまれた
状　　態　右肩関節の骨折疑い
　　神経症状のため平衡感覚が保てず、ひっくり返ってしまう

左のひっくり返ったスズメの写真は受け入れた時の様子です。バタバタと暴れまわってお腹が上になってしまいます。残念ながら、翌朝に亡くなりました。

ようやく巣立つことができたスズメ。なぜカートにはさまれてしまったのかはわかりませんが、鳥を巻き込まないためにも、お買い物の際には周囲にご注意ください。

報告②：ネコ



受　付 No.　２２００８２
種　　名　ムクドリ（ムクドリ科）
受 入 日　2022年6月3日
救護場所　愛川町
救護原因　ネコに襲われた
状　　態　左肩関節の骨折と内出血

左の写真は、肩関節の可動域の確認をしている様子です。通常はオレンジ線上に翼があるのですが、このムクドリの翼は問題のある方向に傾いているので異常があることがわかります。この他にも救護者の証言・鳥の動き・表情・触診などを基に最終的な診断をしています。

今回は外に出されている飼いネコによるものでした。巣立ちを迎えたヒナは、ケガなどを通じて何が危険でどのように逃げるのかなどを親鳥から学んで生き抜く術を身につけますが、不運にもネコに襲われてしまいました。

ネコはそもそも人間と共に暮らす動物です。このようなことを防ぐためにも、家の中だけで飼いましょう。ご協力をお願いいたします。

2022年度の新たな試み　― まるごと病棟!?「新温室」とその管理―

レントゲンなど医療機器や設備が充分には整っていない当センターでは、様々な方からの情報や職員の知識や経験を基に治療、看護を行っています。また、ボランティアの皆様と現場の課題を共有して話し合い、設備改善などに工夫を凝らしています。

新温室

弱った動物をケアする時、大切なことはたくさんありますが、なかでも**寒暖差の少ない場所で安静に過ごさせること**は、回復を促すためにも治療と同じくらい重要です。今回は、昨年度まで課題だった点を話し合い、意見を出し合って新しく**「温室」**という形にしました。これは、大きな病棟のようなもので、中の鳥カゴや虫かごが病室になっています。

洗濯バサミでパチッ！

ビニールシートを二重にしたので、出し入れしても内部温度を保てます！

1部屋に1羽、
個室(？)収容で安静に。
これまで個別に保温管理していましたが
まとめて保温できるようになり、
作業効率UP！

カゴごとに
受付番号を表示して
間違えないように！

サーモスタットという機械で
温度を30～31℃に設定し、
一定に保つ。
（温湿度計も完備）

お湯皿

加温機の上にはお湯皿があり、
蒸発させて保湿中！

1羽ごとに
「さしえカード」を付けます。
1日に与えるエサの回数は
動物の状態によって決めているので、
「さしえカード」で見える化し、
わかりやすく！

毎日の管理

職員と共に多くのボランティアの皆様が入れ替わりで動物の看護にあたるため、動物の状態を情報共有して管理していくことはとても大切です。より良い看護につなげるため、今回のように意見を出し合い、試行錯誤しながら日々改善をしています。

恒温器

常に温かく新鮮なエサを提供できるように、40℃の温度を一定に保つ恒温器を活用して、30分に1回新しいエサを温めています。

記録票

1羽ごとに体重・エサの内容・食欲・便の状態の変化などを記録票に記入。いち早く状態の変化に気がつくように管理しています。
この他にも、治療の経過をまとめたカルテもあります。